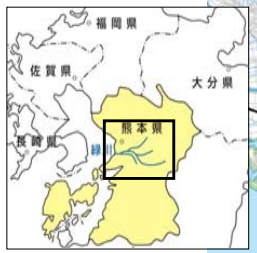
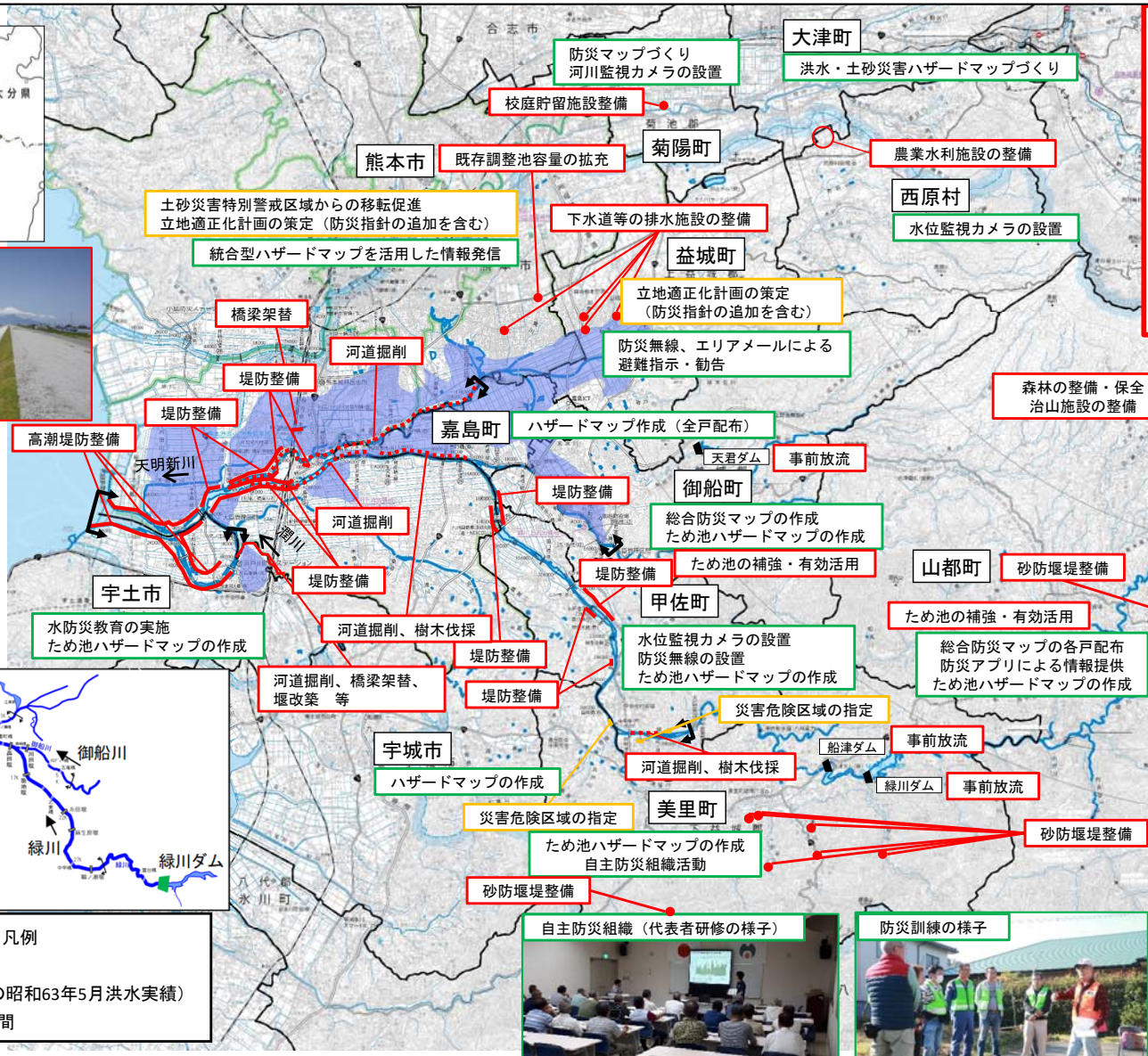
緑川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～歴史的な治水対策の保全及び未来に向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、緑川水系においても、干満差が日本一大きい有明海に注ぎ、広大な熊本平野を流下することで浸水被害発生時の影響が長期化するという流域の特性を踏まえ、高潮堤防整備や河道掘削などの事前防災対策を進めることで、国管理区間においては、戦後最大の昭和63年5月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



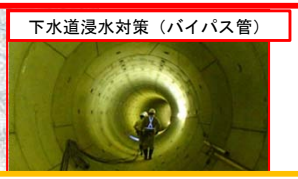


凡例
- 浸水範囲（戦後最大の昭和63年5月洪水実績）
- 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築、高潮堤防整備　等
- 高潮堤防整備
- 下水道浸水対策事業
- 既存調整池容量の拡充
- 農業水利施設の整備
- ため池の補強・有効活用
- 森林の整備・保全、治山施設の整備
- 利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、熊本県など）
- 砂防堰堤整備　等



■被害対象を減少させるための対策

- 災害危険区域の指定
- 立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）
- 歴史的な治水対策の保全　等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水位監視カメラの設置
- 総合防災マップ、ハザードマップの作成（全戸配布）
- ため池ハザードマップの作成
- 災害時における流域連携による復興支援等の検討
- 水害リスク空白域の解消
- ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保　等

※今後、関係機関と連携し対策検討

緑川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～歴史的な治水対策の保全及び未来に向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○緑川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】県庁所在地である熊本市等の洪水被害軽減及び高潮対策として、歴史的な治水対策を保全しつつ流下能力が不足する支川加勢川の河道掘削等や本川下流部の高潮堤防整備（T.P.4.5m完了及びT.P.6.0m整備）を実施し、県管理区間においても、河道掘削や橋梁架替を実施する。併せて流域として、下水道等の排水施設の整備や治山設備の整備等を進めることで流域内の被害軽減を目指す。

【中　期】本川中流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削を実施する。また、支川加勢川の河道掘削や本川下流部の高潮堤防整備（T.P.6.0m)の継続と併せて、ため池の改修等により被害の最小化を目指す。

【中長期】本川上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削を実施することで、流域全体の治水安全度向上を図る。

○あわせて、ハザードマップや防災マップ、自主防災組織活動等のソフト対策を行う等、流域が一体となった防災・減災対策を推進する。

■**河川対策**　（約２４６億円）
■**砂防対策**　（約１５億円）
■**下水道対策**（約５０億円）

区分	対策内容	実施主体	工程 短期	工程 中期	工程 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築　等	国土交通省 熊本県	支川加勢川河道掘削等 橋梁架替	本川中流部堤防整備 本川中流部河道掘削	本川上流部堤防整備 本川上流部河道掘削
	高潮堤防整備	国土交通省	TP4.5m対応 TP6.0m対応		
	土砂洪水氾濫対策	熊本県	砂防堰堤整備		
	流域の雨水貯留機能向上	熊本市、大津町、菊陽町、西原村、宇城市、嘉島町、益城町、御船町、甲佐町、山都町	調整池・校庭貯留施設の整備、既存調整池容量拡充 雨水貯留施設の設置補助、一定規模以上の開発行為に対する設置指導 農業水利施設の整備 ため池の補強・有効活用		
	支川等氾濫対策	熊本市、西原村、宇土市、宇城市、御船町、甲佐町、益城町	下水道等の排水施設の整備 排水ポンプ用釜場整備、排水機場整備 中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等		
	森林の整備・保全 治山施設の整備	熊本県、熊本森林管理署 森林整備センター熊本水源林整備事務所、緑川流域会議	間伐等による森林の整備・保全、治山施設の整備・保全		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	国土交通省、熊本市、甲佐町、美里町、益城町	防災ステーション、防災拠点等の整備・維持管理 土砂災害特別警戒区域からの移転促進、がけ地近接等危険住宅移転事業 災害危険区域の指定 立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)		
	歴史的な治水対策の保全	国土交通省	轡塘等の保全		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	国土交通省、熊本県、菊陽町、西原村、宇土市、甲佐町	危機管理型水位計の設置 河川カメラの設置		
	避難体制等の強化	国土交通省、熊本県、熊本市、大津町、菊陽町、西原村、宇土市、宇城市、嘉島町、益城町、御船町、甲佐町、美里町、山都町	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり　等 防災情報伝達の迅速化、多重化 防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進　等 災害時における流域連携による復興支援等の検討		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって 変更となる場合がある。